時事新報

第三千百五十號
明治廿四年十月三日　土曜日
舊曆辛卯九月朔日（壬戌）
日　出午前五時三十八分　入午後五時二十二分
月　出午前五時三十八分　入午後五時二十二分
滿潮　午前五時二十八分　午後五時四十一分
（西曆一千八百九十一年）

時事新報は全國中紙面の最も廣き新聞紙なり　時事新報には毎號詳細なる商況物價の報

時事新報定價

時事新報は毎號八面乃至十二面にして詳細の商況物價報告あり其代價遞送料廣告料は左の如し

一枚二錢〇一箇月前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓〇一箇年前金六圓〇月曜日休刊
〇時事新報社ヨリ直接ニ郵送スルモノハ右定價ノ外ニ一箇月十三錢ノ遞送料ヲ申受ク

時事新報廣告料（前金）

一行五號活字廿四字詰	一日限	一日以上六日迄	七日以上
一行ニ付	十三錢	十一錢	十錢五厘

本社へ寄稿に付

東京府下を始め各府縣に通信社なるものありて是より各新聞社に報道を發送し各新聞社は之を受けて紙面を填塞するより各社同一の記事を掲ぐるもの寡からず獨り時事新報社は社員並に通信員の多きを以て斯類の社に通信を依頼せずと雖も世間往々此事を知らずして通信社にさへ報道すれば本社にも其報道は達する事と信ずる方多きが如し爲めに行違ひを生じたる場合も寡からざれば本社に記事論說を寄稿せんとする方は直接に本社に向け發送あらんことを請ふ

時事新報

愛國論

近來世間に一種の愛國論あり我國と西洋諸國と相對するときは兎角我に幾分の弱身ありて面倒なる外交問題の起りたるときなど我に道理ありとは知りながらも常に一歩を讓りて彼の言を容れ成る可く圓滑に事を纏めんとするの氣味あるを見て頻りに慷慨を催はし外人をして斯の如く跋扈せしむるは我神國の威光を損するみと是より大なるはなし我獨立を完からしめんには秋毫の微も勘辨す可きに非ずとて切齒扼腕する其有樣は恰も昔日の攘夷家が外夷の無禮を惡んで之を國外に驅逐するの策を講じたる時の狀況に髣髴たり而して此種の論者の目的とする所を聞けば我國體を保存して永く獨立の實を全ふし歐米諸國と肩を並べて其下に出でざるは勿論、尙ほ進んで大日本の光明を世界に輝かし海外の國々をして神國の威德に歸服せしむるに在りと云ふ其言誠に盛にして快活なりと雖も之を實際に行ふの手段に至りては我輩の感服せざるもの甚だ多きが如し思ふに論者は之を言に發して今日直に之を實行せんと欲する者あらんなれども外國交際の常に不如意にして今の如くなるは必ずしも今の日本國人の罪にあらず世界の大勢に於て如何ともす可らざるものあれば苟も國民の分として誠を盡し恰も一國の利害を一身に負擔したる心得を以て深く自から考ふるときは斯る一大事に就て容易に發言す可らざるを悟るに至る可し蓋し外交不如意の原因を究むるときは種々無量の事情ある其中にも著しきものを擧れば東西相比較して我日本國の實力尙ほ未だ厚からず、實力厚からざるが故に商賣上にも軍事上にも自から一步を讓る所なきを得ず又日本は久しく鎖國したるが爲め國の眞面目を世界に明にするの方便少なきに反して西洋諸國の人は夙に航海に怠らずして四通八達の往來を專にし凡そ世界中に事を生じて其事の利害に關するみとあれば西洋人の言は到る處に流行して或は新聞紙に或は演說に喋々說き來りて遂に全世界の輿論を成し之を敢て爭ふ者なきが故に例へば我條約改正の如き此方に十分の道理あるにも拘はらず世界の輿論に於て之を道理ありと認めざるときは俗に云ふ多勢に不勢にて唯殘念なりと云ふの外あるべからず左れば彼の愛國論者の憤るは決して無稽なるに非ず我理を非に視らるゝの一段に至りては我輩も論者と共に憤りを與にする者なれども扨かし我道理を伸して世界の輿論を左右せんとするの方便を如何す可きやと云ふに國に實力の實を積まずして空しく切齒扼腕するも內外相對するの勢を左右するに足らず、鎖國の小天地に蟄居して獨り激論を逞ふするも曾て之に耳を傾くる者なくして却て西洋諸國の人言は我東洋國の利益を抹殺するみとみそある可ければ此處は論者に於ても深切に勘辨を運らし唯一偏に自國の實力を養ひ自國の言論の道を世界中に擴張するの法を講ずるみと肝要なる可し此方の實力未だ充分ならずして漫に大言を放ち人の同情相感ずる者なきに獨り愚痴を鳴らすが如きは例の蔭辨慶にして唯徒に我淺見短慮を示すに足る可きのみ人或は云ふ外交上に我實力を養ひ我言論の道を廣くするの說は妙なりと雖も人間社會の事は虛實相半するものにして彼の人を鼓舞すると云ふが如きは實際の如何を問はずして兎に角に世人の心を眠らしめざるの方便なれば今の外交に切齒扼腕の劇論大言も自から人心鼓舞の一策として見る可し愛國論者も自問自答にして自から其說の實際に行はれ難きを知らざるに非ざれども其行はれざるを悟りて默々するときは天下は無氣力の暗弱に沈む可きが故に時としては熱心を裝ふのみとの說あれども左りとは國の爲めに謀りて不深切なりと云はざるを得ず同國人民相互ひの私なれば虛實の方便も品に由りては恕す可きなれども至大至重なる國交際に關し內の人心を鼓舞するが爲めにとて漫に大言を放ち外人の耳に之を聞けば一場の虛喝と認められて却て交際の妨と爲る可きのみならず果して論者の目的を達して人心を鼓舞し得たりとせんに其鼓舞せらるゝ者は國中何れの種族なる可きや無智痴鈍の愚民に非ざれば血氣無謀の壯者より外あらず思慮分別に乏しき愚民又少壯の輩が輕々人の言を聞て正面より之を信ずるときは其成跡は發して攘夷論と爲り又甚だしきは局部の暴擧に及ぶも圖る可らず人心を鼓舞して國家の禍根を培養するに異ならず凡そ既往十年以來教育の方針を誤りて政治上に奇禍を生したるの事實は識者の竊に歎息する所にして特に外交上には恐る可きの甚だしきものなれば我輩は切に愛國論者の自省を希望する者なり

雜報

○銀貨問題の運命は必ず此邊ならん　米國銀貨問題に關する將來の成行きは必ず此邊ならんとて去る八月下旬頃に華盛頓に行はれし說を紐育ヘラルドに載せたるを見るに合衆國行政部は贊成反對雙方の說を斟酌して多分は來る冬期國會開會の間に折衷說を提出するなるべく而して遂には其說に折合ふて茲數年の間は善かれ惡かれ銀貨問題てう大難問の暫らく鎭まる事あるべきか今日の有樣を以て考ふれば必ずや此邊に運命は歸するならん左れば上院に於ける議員の多數が果して大統領の此政策を贊成するに至れば始めより純粹の無制限鑄造を主張する下院も全く行はれざるには勝るとして其折衷說に同意するならん大統領は國會に對する教書に於て必らず此問題の事を云々し若し何とか處置せざるべからざるものとすれば其無制限鑄造を米國の產銀のみに限らざるべからずとの說を明言する事なるべし或は大統領は尙ほ歐洲諸國をして合衆國は彼等と協同するにあらざれば無制限鑄造を許すに至らずとの事を信せしめんが爲め引續いて此問題を延引せんとするの策を取るみともあるも計るべからずと雖も夫では國會が承知すまじとは何人も異口同音に氣遣ふ所なり左れば大統領は一擧兩全の策を取るに疑ひなし即ち一方には無制限鑄造論者を滿足せしめ一方には通貨金銀の差を平準に保たしめんとするなるべしヘリソン氏の希望は一方には此論者を滿足せしめんとするものなれば造幣局を開いて合衆國に產する丈けの銀を制限なく鑄造せしめ外國より輸入し來るものは稅關に於て之を制止するみと彼の去年春を以て故大藏卿ウインドム氏が提出せし考案の如くにし米國產銀の外は一切造幣局に入るべからざる方法を取るみともあるべし又斯くして鑄造せし新銀貨及び銀塊買入に發行したる證券は金貨と交換するみとを得せしめて金銀の差を平準に保たしめんとするに付ては大統領及びフオスター氏（大藏卿）の考案は大藏省に巨額の金を準備し諸般の需用に應ずるみとを得んとするもの〻如し而して行政部が果して以上の政策を行はんとの決心ありて熱心に盡力するあらば敢て行ふに難からず假令ひ始めは承諾せざるものありとも遂には同意せしむるを得べし蓋し國會兩院にては純粹なる無制限鑄造案を提出するものありて一度びは通過する事あるべけれども大統領は必ず之を否拒すべし大統領果して否拒すれば下院は如何に周旋するも上院は其否拒に同意すべきが故に銀產者の爲す所は行はるゝ丈けの範圍內に於て最も得策とするものを行はれしめんとするの外方案なければ每年米國に於て產出する六千餘萬弗の銀塊を鑄造するみとを得る時は止むを得ずとして滿足するならん殊にチヴアダ及びカロラドー地方銀山主の爲めには即ち純粹なる無制限鑄造を許すも同樣にして其產銀の市場は之が爲めに充分開くるの思ひあるべし但し東部のレパブリカン黨及びデモクラット黨は共に此方案に反對するみとあるべけれども西部のレパブリカン黨は一も二もなく贊成を表し同地方及び南部の產銀者に與するデモクラット黨も事情據なく同意して此等の爲めに兩院を通過する丈けの多數は充分に得らるべし左すれば銀貨問題も茲に至つて始めて落着し少くも大統領改撰期の後までは無事なるべしとの說最も信に近きが如しと云ふ

○軍艦海門の消息　海軍省にては北海道警備の爲め先きに軍艦海門を北海道に派遣せしが同艦は根室を以て本據と爲し時々千嶋群嶋の巡回を試み目下尙は同地に在り抑も同艦の品川を發したるは去る七月七日にし
て一旦横須賀鎮守府に立寄り同
同十八日函館に着し二十六日同
んとしたるも風波甚しかりしか
二十八日を以て拔錨し翌二十九
次いで八月九日根室港を解纜し
就き二十日餘りを航海に費して
り更に又九月六日を以て最寄の
根室に引返せり其後の消息は未
各處を巡回したる事なるべし
きたるは重もに警備の爲めに在
を以て千嶋諸嶋に於る漁獵等の
ら密獵船探撿の爲めに同道に派
知るべにもとて先づ試みに該艦
と云ふ

○議員辭職　貴族院議員子爵三
たりしが去る三十日御允裁あら

○東京市公債條例　に就き此程
樣は連日の紙上に報道せしが其
號とありて昨日公にせられたり
に掲げたれば就て見るべし

○大博覽會出品に關する注意
たる通り昨日博覽會事務總裁は
大博覽會に出品するもの〻依る
委細は本日の官報欄にあり

○日本人も亦移住を禁せられん
如く北米合衆國にて甚く支那
那人移住禁止條例を實施して其
たれ共幸にして我日本の移住民
に於て糊口の道を求むるに都合
の渡航するもの益々增加し中に
地に惡事を働く場合も少なから
聲價を墜すに至りしが或は實際
するもの有りて我日本人を惡し
も角も近着のイブニング、シナ
頃はすべき新問題は日本人の移
も亦日本人を非難して曰く遠か
今日迄日本人の移住を禁せざる
に於ける支那人の數よりも多か
等は支那人よりも一層低廉なる
辭せざれば之を凌駕するの勢あ
ては既に日本人に反對せり西部
が不良なれば日本人は尙は一層
に對する移住制限法は日本人に
て施行せざる可らずと云へり實
人に劣るが故に米國人は若し低
せば日本人よりも支那人を可と
多分今より一年を出でずして支
人の上に及ぼすあらん云々

○久次米銀行拂出を始む　久次米
其預り金に對し百圓以下の小口
附して元利全額を、百圓以上の分
と本年八月迄の利子とを拂ふみ
り其拂出を始むる旨其筋へ屆出

○關西茶業の觀察　客月二十七日
合會議所に於て同組合の重役諸氏
東西を問はず全國一致したる茶業
要を論し同時に共審見書を作りて